

## 原村地域創生関連交付金事業 効果検証シート

### ①基本情報

交付金名	地方創生拠点整備交付金	担当課・係	子ども課・子育て支援係
事業名	原村子ども子育て支援拠点整備事業		
事業期間	令和4年度	～	令和8年度
総合戦略での位置づけ	③しあわせを誇れる健康・福祉・子育て環境をつくる		
事業の概要・目的	<p>地域の子どもや保護者、支援者のための多機能なスペースを提供しており、多目的室、子育てサロン、相談室等の施設が整っています。</p> <p>多目的室は、児童・生徒が放課後を過ごす場所として、また保護者同士や支援者との交流、さらにはセミナーなどに利用されます。子育てサロンは、妊娠中の方や乳幼児とその保護者または支援者が集えるスペースとして設けられています。相談室は、打ち合わせや会議、相談に使用され、会議室および学習室は事前予約によって打ち合わせや会議、相談に利用されます。さらに、テレワーク個室は完全防音で1人用の部屋が2室あり、Web会議や商談に対応しています。これらの個室は予約により利用可能です。また、教育支援センターは、不登校や不登校傾向の児童生徒の日中の居場所として活用されています。施設では就労支援とワークスペースの提供もっており、夜間や休日でも施設や設備のWeb予約が可能です。子育て中の保護者向けには年数回の就職相談会が開催され、随時就労相談につながる取り組みも行われています。</p>		
事業の詳細・経費	<p>子ども・子育て支援センターを整備し、令和6年4月より運営を開始                      平成30年9月より運営を開始                      建築物本体工事 104,216千円                      建築物と不可分な設備工事 45,712千円                      建設用地に現存する建物3棟の除却工事 25,190千円                      施設駐車場及び庭等の外構工事 14,324千円                      地域イントラネット環境構築工事 1,135千円                      【合計】 190,577千円</p>		
計画額	231,830 千円	実績額	190,577 千円
		交付金額	95,289 千円

### ②重要業績評価指標(KPI)

指標	目標値	実績値	達成率
① 当事業を通じた子育て世代の新規就労者数	12 人	1 人	9 %
② テレワーク個室及びテレワークスペース、会議室等利用件数	240 件	261 件	109 %
③ 就労相談会及び子育てセミナーの開催数	4 件	7 件	175 %

### ③内部評価

事業効果	③地方創生に効果があった
事業効果判断理由	本事業は、子育て世代に対して支援スペースを提供し、地域社会の子育て環境の向上に貢献しました。テレワーク個室の利用件数や就労相談会の開催数が目標を上回る実績を上げており、地域住民のニーズに応える形で活用されています。また、子育て支援センターの運営開始により、乳幼児の保護者、不登校児童の支援にも寄与しており、地方創生においても一定の効果を発揮しています。
今後の方針	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
今後の方針判断理由	理由として、会議室やテレワーク個室の利用実績が高く、地域住民からの利用が継続して期待されることが挙げられます。これにより、地域の子育て支援環境のさらなる充実と地方創生の推進が可能となります。また、現状で達成率が低い目標については、具体的な改善策を検討しつつ、継続的なモニタリングを行うことで、事業の効果を高めることが求められます。

### ④地域創生検討委員会からの評価

事業効果	②地方創生に相当程度効果があった
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、必ずしもKPIに囚われることなく、施設を運営していく中で見えてくる課題や効果等の把握につとめ、改善や多様な取り組みの展開を期待しています。定量的な指標を充足することだけが、事業の目的ではないと思いますので。</li> <li>・ 成果が出ている部分は伸ばし、足りない部分は検証して進めて下さい。</li> <li>・ ・良い施設なので、もっとPRIに努めて利用価値を高めていただきたい。</li> </ul>

### ⑤事業のあり方(地域創生検討委員会の効果検証を受けて)

今後の方針	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
今後の方針判断理由	本事業は、子育て支援や相談室利用などで一定の成果が見られ、地域住民の需要にも応えています。今後は、課題のある指標について改善を図りつつ、施設のPR活動を強化し、さらなる利便性向上と地域ニーズに応じた運営を継続することが重要です。